

令和元年度 第1回 天王寺区政会議

日 時：令和元年8月7日（水）

午後7時00分～午後9時06分

場 所：天王寺区役所 3階 講堂

出席者

（区政会議委員）

井川委員・出水委員・一本松委員・江畑委員・小野委員・片岡委員・上戸委員

萱野委員・菊山委員・高木委員・竹田委員・田中委員・辻委員・中谷委員

中野（浩志）委員・中野（佳弘）委員・中山委員・林委員・東浦委員・平嶋委員

松下（尚生）委員・松下（正克）委員・三宅委員・山崎委員・吉田委員

出席25人／定数33人

（市会議員）

足高議員・金子議員

（天王寺区役所）

西山区長・吉村副区長・佐藤企画総務課長・丸谷事業戦略担当課長

小埜危機管理課長・北吉市民協働課長・糸井未来人材育成担当課長

樋上窓口サービス課長・大島保健福祉課長・南野保健・生活支援担当課長

尾古貴企画総務課長代理・渡邊危機管理課長代理・岩上地域活動支援担当課長代理

東浦シティ・プロモーション担当課長代理・寺戸保険年金担当課長代理

平山福祉担当課長代理・羽根子育て支援担当課長代理

森本保健・生活支援担当課長代理

○丸谷事業戦略担当課長

定刻が参りましたので、ただいまより、令和元年度第1回天王寺区区政会議を開催させていただきます。

私は、天王寺区役所事業戦略担当課長の丸谷でございます。よろしくお願いいたします。すみません、座って説明させていただきます。

まず、配付資料につきまして、机上の配付目録とのご確認をお願いいたします。なお、事前にお送りしました資料を、本日ご持参でない方いらっしゃいましたらお申し出ください。

本日の追加資料といたしまして、配付目録の10番と11番が追加されております。ご確認くださいませ。

よろしいでしょうか。

では、議題に入ります前に、報告事項を報告させていただきます。

まず、本日ご出席の委員ですが、お手元の配席図のとおりでございます。個別のご紹介は割愛させていただきます。なお、前回の会議までご参加いただいております、玉井委員は、ご転居のためご辞任されております。

また、次に申し上げる委員の皆様はご欠席の旨、ご連絡いただいております。頓名委員、山本まゆみ委員、三浦委員、松本委員でございます。また、井川委員は遅れて到着のご連絡をいただいております。

さらに、ここにおります区役所職員のうち、本年度4月1日付で異動がありました者について、ご報告いたします。

企画総務課長、佐藤でございます。

○佐藤企画総務課長

佐藤でございます。事業戦略担当では大変お世話になりました。引き続きよろしくお願いいたします。

○丸谷事業戦略担当課長

市民協働課長、北吉でございます。

○北吉市民協働課長

北吉でございます。よろしくお願いいたします。

○丸谷事業戦略担当課長

未来人材育成担当課長、糸井でございます。

○糸井未来人材育成担当課長

糸井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○丸谷事業戦略担当課長

保健・生活支援担当課長代理、森本でございます。

○森本保健・生活支援担当課長代理

森本でございます。よろしくお願いいたします。

○丸谷事業戦略担当課長

また、本日の会議は傍聴の方がお見えです。本会議は分科会形式で進行してまいります。各班でのご審議の際、傍聴者の方は、各テーブルを回って傍聴していただいて差し支えございませんが、傍聴要領を遵守いただきますようお願いいたします。

また、本日の区政会議の様子を広報紙などに掲載いたしますので、会議中何枚か写真を撮らせていただきますこと、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

まず、西山区長よりご挨拶を申し上げます。

○西山区長

皆さん、こんばんは。天王寺区長の西山でございます。本日は、お忙しい中、当区政会議にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。皆様方には、区政運営に多大なご理解、ご協力、ご意見をいただいておりますこと、この場を持ちまして、改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

本日の議題ですけれども、「平成30年度天王寺区運営方針の実績・評価について」、

また、「今後取り組むべき事業について」でございます。今回も、テーマ別、分科会形式で運営してまいりますので、皆様方の関心の高いテーマについて、様々なお立場から厳しいご意見も含めまして、多数頂戴したいと思っております。今後の区政に活かしてまいる所存でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、先日のG20大阪サミット、成功裏に終わりました。今後、2025年の万博等々、大阪には国内外から注目から集まっております。今後の成長が期待されております。その中で、この天王寺区におきましても、さらなる発展に向けまして、区政を充実させてまいる所存でございますので、皆様方の引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

簡単ではございますが、冒頭のご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

○丸谷事業戦略担当課長

次に、議長よりご挨拶をいただきます。

小野議長、お願いいたします。

○小野議長

皆さん、こんばんは。本日は、お暑い中、ご出席いただきまして、まことにありがとうございます。

今年度は、1回目の区政会議ですが、このメンバーで向かい合います最後の区政会議となります。この2年間皆様におかれましては、本当にご苦勞いただきましてありがとうございました。誠に役所側の立場として頑張っていた姿、非常に私は感じておりますし、ちょっと本題から外れるかもしれませんが、サミットは大成功に終わりました。それと同時に、大阪の知名度がそのおかげで非常に上がりまして、この次の万博が終わった後は、相当、大阪、今でも既にG20で世界に発信できたけども、まず、申し上げてええのか悪いのかわかりませんが、先ほど区長さんに申し上げましたけど、大阪発祥の地であります上六上本町駅舎は30年にはもう建

てかえするいうのをお聞きしておりますし、宮司のほうからもご挨拶に行って、また区長さんにご挨拶をしてもらうということをお話ししました。そういうような、違うことかもしれませんが、とにかく私は天王寺区のためにうそ偽りのない言葉を発信したいと思います。それだけちょっと申し上げておきます。すみません、よろしくお願い致します。

簡単ですが、ご挨拶といたします。ありがとうございます。

議事進行は、一本松さんをお願いしたいと思いますので、よろしくお願い致します。

○丸谷事業戦略担当課長

ありがとうございました。

それでは、ここからの議事進行を議長のご指名により、一本松副議長をお願いいたします。

○一本松副議長

皆様、こんばんは。暑い中をよくお集まりいただきまして、ありがとうございます。副議長の一本松でございます。

本日の議事が上手に進行できますように、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。座って説明させていただきます。

それでは、初めに、事業戦略担当課長より、本日の流れを説明いたします。

○丸谷事業戦略担当課長

すみません、引き続き、座わって説明させていただきます。

本日の流れを説明いたします。

本日の議題は、「平成30年度天王寺区運営方針の実績・評価について」及び「今後取り組むべき事業について」ですが、この2つの議題を一括して取り扱わせていただきます。

まず、西山区長より議題1「平成30年度天王寺区運営方針の実績・評価について」を説明させていただきました後、議題1、2併せてのご審議に移っていただきま

す。

これまで同様、分科会形式による各班でのご審議をお願いいたします。班ごとに担当するテーマ・経営課題を中心に、８時１５分頃まで各班でご議論いただき、その後、各班でいただいたご意見を報告、全体で共有いたします。

分科会での司会進行は、前回と同様、各施策・事業を所管する課長・課長代理が担当させていただきます。

議題につきましては、８時３５分頃に終了し、引き続き、区役所からの報告事項の後、区長より一言申し上げます。

最後に、お越しいただいております足高議員、金子議員より、ご助言、ご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

また、本日お帰りの際には、事前にお送りしております「区政会議委員評価シート」と、本日配付の「区政会議に関するアンケート」をご記入の上、事務局にお渡しください。後日のご記入の場合は、お手元の返信用封筒で８月２１日（水）までにご返送いただきましたらありがたく存じます。

流れの説明は以上でございます。

○一本松副議長

ありがとうございます。

それでは、議題１について、西山区長より、資料の「平成３０年度天王寺区運営方針実績・評価について」の３ページでございます。「自己評価の結果の総括」について、説明をお願いしたいと思います。

なお、その他の資料につきましては、説明を予定していませんが、議題の検討時に参考にしていただければと思います。

それでは、西山区長、よろしくお願ひいたします。

○西山区長

この横長の資料に沿いまして、ご説明させていただきます。資料のほうよろしいで

しょうか。

開いていただきまして、まず2ページですが、区の目標といたしまして5つの将来ビジョンを挙げております。みんなの「思い」が区政に反映されているまち、未来を担う人材が育成されているまち、「命を守る政策」がしっかりと進められているまち、歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち、「つながり合い、支え合い、助け合うまち」、というこの5つの将来ビジョンに沿えまして、30年度取組んでまいったところを報告させていただきます。

3ページですけれども、この1年間の取組み成果と、今後の取組についてということで、まず、この区政会議の場、あるいは区役所職員が区内を回りまして「あなたの声をつなげ隊」という活動をしながら、そういった意見を中心に積極的に集約をして、政策展開や予算に反映してまいったところでございます。昨年度申し上げました喫緊の課題としての待機児童対策、平成30年4月時点では待機児童ゼロということになりましたが、その後もどんどんお子様増えてきております。そんな中で、公有地の活用を含めまして、区役所が主体的に保育所を誘致や増設するという取組を行いました結果、個別の事情等もありまして、待機児童1名というところで、4月1日現在至っておるところでございます。

また、子育てのスタートアップを応援する子育てスタート応援事業ですけれども、着実に定着してまいりまして、年々利用率も堅調に推移いたしまして、平成30年度には約75%近くまで上がってきたところでございます。さらに、防災対策を支援する専門スタッフ、特にマンション防災を中心に担当する専門スタッフを新たに配置いたしまして、マンションの管理組合を対象とした学習会、または個別のマンションへの支援などを通じまして、総合住宅、これ天王寺区内の約85%を占めております。共同住宅での防災対策を進めてまいりました。また、魅力発信ということで、大阪・熊野街道歴史ウォークを、中央区、阿倍野区、住吉区等々、周辺区との連携をしながら開催し、区の魅力を積極的に発信してまいりました。引き続き、その他の事業も含め

まして、しっかりと取組んでまいりたいと思っております。

4ページ目にまいりまして、この1年間の評価結果に対する解決すべき課題、あるいは今後の改善方法といたしまして、主なものを挙げさせていただいております。

1つが、高齢者、要援護者の増加が見込まれておる中、天王寺区は特に上町断層等を抱えております。地震の影響の多いところでございます。そんな中で、区民の安全・安心の確保が最重要課題であるという認識をしております。各種取組にも関わりませず、家庭での日ごろからの備え、「自助」を示す指標がなかなか伸び悩んでまいりまして、目標を大きく下回っている状況でございます。ただ、昨年大阪北部を震源とする地震、また、大型台風の到来などを機にいたしまして、区民の皆さんの防災に対する関心が高まっている今を一つのチャンスといたしまして、注力して取組んでいくことが必要であろうと思っております。また、高齢者を初めといたしました要援護者等の見守り、支援体制の構築を通じまして、隣近所、地域の皆さんで緊急時にも助け合えるという共助の促進にも取り組んでまいりました。あわせまして、子どもの居場所づくりなどを支援することによりまして、課題を抱える児童生徒の学力向上でありますとか、精神面でのケア、生活へのケアにつなげてまいりたいと思っております。そういった地域の力を結集した、いわゆる防災力の向上等に取り組むことによりまして、マンション、また寺社、企業等これまで地域との連携がややもすると薄かったような、いわゆる新たな地域資源とでもいいますか、そういった地域の皆さん方との連携を一層促進しまして、誰もが日常から安心して暮らせる「住みたい天王寺区」をめざしてまいりたいと思っております。詳細につきましては、分科会に分かれまして、経営課題ごとにご説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○一本松副議長

ありがとうございました。

ここからは、班毎の審議に移ってまいります。

議員の先生方におかれましては、いずれかの班、または、順次各班を回っていただ

き、意見交換の様子などをごらんくださいますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、各班で進行をお願いいたします。

(分科会討議)

○一本松副議長

すみません、皆さんご着席いただけましたでしょうか。

それでは、各班で出ました意見等について、記録係より報告をお願いいたします。

○シティ・プロモーション班記録係（前田係長）

それでは、シティ・プロモーション班よりいただきましたご意見について、報告いたします。

まず、経営課題1に関連しまして、吉田委員から興味のある方は積極的に広報紙などで情報を得ることはできますが、その興味があるときだけでなく、情報を継続して見てもらえるような仕組みを考えてはどうかというご意見をいただきました。それに関連しまして中野浩志委員からは、小学生の児童の方に広報紙をご自宅に持って帰っていただくことで配布し、継続的に家族の皆さんで広報紙を読んでもらうような検討はできないかといったご意見をいただきました。それに加え、SNSなど様々な手段を通じて、情報発信を継続していくことが大事なんではないかといったご意見もいただいております。続きまして、シティ・プロモーション班が担当する経営課題1に関連しまして、「天王寺区区政会議委員評価シート」による評価結果をご紹介します。経営課題1は、「区民の声集約と反映プロセスの強化」ということで、それに対しての評価をいただきました。それができていると思う方は4名、やや思う方は1名でした。続きまして、経営課題5に関するご意見をご紹介します。イベント公報に関しましては、アンケート結果ほど実際に届いているという実感はないといったご意見をいただきました。イベントに関してですが、地域活動での行事などもござ

いますので、区が実施するイベントと地域活動で行っていただいているイベントとのリンクが少ないので、もっとそのリンクがあれば地域の方に、地域活動でのイベントを通じて区のイベントも知ってもらえることができるのではないかといったご意見をいただいております。

地域のイベントに関してですが、中山委員から、区の広報の協力依頼も必要ですし、こういった媒体を増やすことによって、若い方など新しい方に地域のイベントに来ていただくことによって、イベント自体が活気あるものになるのではないかとご意見をいただいております。地域のイベントに関してですが、同じく中山委員のほうから、それぞれの地活協が実施されるようなお祭りを巡っていただくスタンプラリーなどを計画して、実際に各地域を回っていただき、簡素な景品などをつけることによって、皆さんが各地域の予算も知っていただけますし、それぞれスタンプラリーも楽しんでいただけるような仕組みができるのではないかといったご意見をいただいております。このご意見に関しましては、中野浩志委員からも同様なご意見をいただいております。

また、イベントの定着に関しまして、吉田委員のほうから、各季節のイベントが風物詩となるように定着するような意識付けをどんどんしていったらどうかというご意見をいただきました。それに関しまして、中野佳弘委員のほうから、大阪メトロの社内アナウンスなどで、実際にご乗車の方に、区内で実施するイベントを集中的に放送していただくなどをして、イベントの周知を図ってどうかといったご意見をいただいております。

また、天王寺区のシティ・プロモーションとしまして、これまで真田丸のほうで大分、テレビなどでも取材され、注目を集めましたので、今後も天王寺区の様々な資産を活かして取り上げてもらえるようなきっかけを区のほうで掘り起こしてはどうかといったご意見をいただきました。それに関しまして、中野浩志委員のほうから生國魂神社に像があります米沢彦八など、「落語のまち」として天王寺区のPRなどをして

はどうかということでご意見をいただきました。

また、最後に、中野佳弘委員のほうからは、2025年の万博の開催までに、天王寺区の良さをPRすることを2025年まで計画的に行って、インバウンドなど外国人の方の観光客の取り込みを行ってはどうかというご意見をいただいております。

最後に、経営課題5に関する「天王寺区区政会議委員評価シート」の評価結果を紹介いたします。

経営課題5のほうは、「戦略的なシティ・プロモーションの推進」に関してです。これに関しましては、本日までご出席いただきました5人の方全員が、やや思うといった評価をしていただきました。

発表のほうは、以上です。

○子育て・教育班記録係（尾古貴企画総務課長代理）

こちら、子育て・教育班につきまして、報告させていただきます。

まず、30年度の運営方針、実績・評価についてのご意見でございます。

まず、子育てスタート応援事業、やっぱり2歳までの誕生日までしか使えないのがネックではないかと。2歳までの誕生日ということは、ほとんど1歳の間しか使えない。2歳過ぎても使わせてほしいという意見が多いということをお聞きいたしております。せめてもう1年、2歳の間は使えるようにしてもらったらすごく需要があるのではないかとご意見ございました。それは出水委員のほうと、平嶋委員のほうからいただいております。

それから、続いて、教育のほうですけれども、多文化・国際理解教室を平嶋委員のほうから、職業訓練のように全学校で実施してはどうかというご意見もいただいております。

それから、今後のあり方、これから取り組むべき事業についてのご意見ですが、まず子育てのほうですが、待機児童の問題で、かなり待機児童少なくなりましたけども、どんどん保育所を建設するだけではなく、保育の質、それから園庭などの環境面

もししっかりそこら辺を充実できるよう考えてほしいということで、平嶋委員からいただいております。

それから、教育のほう、学校、某区で、今日の新聞でも出ておりましたけども、防災関連ですね、天王寺区の状況大丈夫なんだろうという心配の声もいただいております。

それから、あと井川委員のほうから、病児・病後児保育事業でのキャンセル時の施設側の負担があつて、何らかの対応をお願いしたいというご意見をいただいております。それと、それに関連して、井川委員のほうからは、天王寺区は病院が多いので、その辺、病児・病後児保育のことを病院に協力してもらってはどうかというご意見もいただいております。

それから、あと、学校のほうですけども、中学校の体育館、クーラーの設置状況はどうかということで、平嶋委員からいただいておりますけども、やはり全校にクーラーを設置しないと、避難所になるところは全校に設置しないと意味がないというご意見をいただいております。

子育て・教育班からは、以上でございます。

すみません、報告漏れがございました。

最後の「区政会議委員評価シート」の経営課題2の、「日本一の文教『都市』をめざした人材育成の取組」で、思うという方が2人、やや思うという方が2人、あまり思わないという方が1人、今現在ちょっとわからないという方が1人ございました。

以上でございます。

○地域福祉・健康班記録係（大槻係長）

それでは、地域福祉・健康班でいただきましたご意見について、報告いたします。

経営課題3に関連しまして、上戸委員から、見守りに関して、今の75歳は元気なので同意が少ないのではないかと、もっと上の年齢の人が置いてきぼりにならないように再度声かけができないかというご意見をいただいております。関連しまして、菊

山委員から、見守りの制度開始時に一斉に見守り希望を聞いていますが、その後もそういう周知が大事ではないかという意見をいただいております。江畑委員から、「いきいき百歳体操」の取組をされているということで、集まることで認知症の予防等にもつながるし、筋力アップにも効果があるというご意見いただきました。片岡委員のほうからは、市から任命されたスポーツ推進委員をされてるということなのですが、「いきいき百歳体操」はどこでしているかは知らないということで、そういった部署ごとの情報共有というのが必要ではないかというご意見をいただきました。高木委員のほうからは、ご自身の経験としてグラウンドゴルフをされたりだとか、カラオケとか写経とかをして健康づくりをされてると。これから人生100年時代に向けてそういった健康づくりが大事というご意見をいただきました。松下尚生委員からは、がん検診の受診率について、他区の状況によって区の評価が変わってくるんじゃないかというご意見をいただいております。三宅委員からは、何かのきっかけを提供することでがん検診の受診は増えるというご意見をいただいております。あと、片岡委員からは、それぞれ評価につきまして、3-1については微増、3-2は下がっているというので同等の評価というのではなくて、一定の基準がいるのではないかというご意見をいただいております。

ご意見の報告は以上でございます。

続きまして、地域福祉・健康班が担当する経営課題3につきまして、「区政会議員評価シート」による評価結果をご紹介します。経営課題3「支援を要する人一人ひとりの命を守り抜く地域福祉」につきまして、取組内容が、めざすべき将来像の実現に有効であったと思うと感じられた方は1人、やや思うと感じられた方は3人、あまり思わないと感じられた方は3人、思わないと感じられた方は0人でした。

以上でございます。

○地域社会づくり班記録係（福田係長）

地域社会づくり班でいただきましたご意見につきまして、議題1、2一括してご報

告させていただきます。

まず、経営課題の4に関連しましてですが、まず、防犯の件につきまして、東浦委員より防犯カメラの設置を増やしてほしいといったご意見をいただいております。

続きまして、防災に関連してですが、松下正克委員より非常持ち出し品の所持率が伸びていないということが挙がっておりました。そのところで、ローリング・ストックなど捨てずにできるのであれば必要なところに回すなど、有効活用していけないかというご意見をいただいております、それに対しまして、今後、フードドライブの取組などを努めていくというふうにご報告させていただいたんですけれども、ただ、個人レベルでそういう意識が高まっていくのかなというところを懸念されておられました。個人でもそういった取組に参加していけるような、例えばですけれども、特に広報紙などでも周知していけば、個人レベルでも取組む人が増えていくのではというふうにご意見をいただいております。これに関連しまして、中谷委員よりエコバッグや乾電池の収集ボックスなど、そういうふうに取り組む、目に見えるような場所があればそういう意識も高まっていくのではというふうにご意見をいただいております。これに関連しまして、東浦委員より、マンション防災など地域の防災行事に参加の取組を進めてほしいというふうにご意見をいただいております。

あと、自転車に関連しましてですが、林委員より、迷惑駐輪について、自転車はたくさん駐輪施設もできているけれども、少しの時間とめるのにミニバイクなどとめるところが少ないので、ミニバイク用の駐輪施設なども増やしていただきたいというふうにご意見をいただいております。これに関連しまして、萱野委員より、駐輪用の予算についてお金、予算を使っているのに違法駐輪がなくなっていないということもご意見をいただいております。これに関しまして、小野委員より、マンションの通路などにも自転車が置いてあって、例えば、火事の時など、そういった事故につながってしまうということを心配されておられまして、特に、建築確認などは今、民間には委託されていると聞いております。そういった民間で評価しているのも甘いのではな

いかというご意見をいただいております、行政側で駐輪場の確保など、マンションに対して指導をしていくべきというふうにご意見をいただいております。

自転車の関連でいいますと、東浦委員よりマナーにつきまして、赤信号無視など運転のマナーが悪いのが目立っており、警察に対しても積極的に取り締まりを努めるように要望していただきたいというふうにご意見をいただいております。

その他ですが、空き家対策につきまして、中谷委員より、以前商売していた方が廃業された後、空き家を更地にしてもらうまでに大分時間がかかったということです。もう少し早くしていただけるようにやればよかったというふうにご意見をいただいております。

あと、その他につきましてのご意見ですが、小野委員より、防犯や防災の区役所が取り組み、進めていることについて、地域の方からも感謝いただいております。引き続きお願いしたいということでご一報いただいております。

小野委員より、ブルーシート、災害などで屋根の上に固定しているブルーシートが瓦とか石で固定しているけれども、それが落ちてきたら危ないので、行政で何とかしていただきたいというご意見をいただいております。萱野委員より、防犯、防災について、警察署や消防署の代表の方に区政会議にご出席をいただいて、区政会議委員の生の声を聞いていただきたいというふうに声をいただいております。林委員より、要支援者名簿についてですが、障がいをお持ちの方、要介護状態にある方について、ご本人が承諾されてる場合には要支援者名簿に掲載されてるんですけども、介護されている方、介護を受けておられる方、支援は一定届いているかと思うんですけども、今後も将来にわたって介護者、介護する人に対しても支援が必要ではというふうにご意見をいただいております。

経営課題4につきましては、以上です。

あと、経営課題6につきまして、地域活動支援の関係につきましてですが、東浦委員より広報紙でも地活協の宣伝といいますかPRを進めているんですけども、地域

の方も頑張っているのに、一般的に地活協を知っている人の割合が非常に少ないというふうにご意見をいただいております、そういった地域で頑張っている方を紹介して、地域に認知していただけるように取組んでいただけないかというふうにご意見をいただいております。

これに関連しまして、萱野委員より、広報紙の予算など、広報にかかっている予算に見合うよう地域の取組が認知されていくように充実してほしい、魅力的に広報紙を読んでいただけるように努力もしていただきたいとご意見をいただいております。

あと、これに関連して、田中委員より、地活協にかかわっている人しか、そもそも地活協の取組を知らないのでは、子育てサークルや食事サービスなど参加されている人すら予算の出どころとかそういったことを知らないのではと、そういったところを発信していくことも大事というふうにご意見をいただいております、中谷委員、東浦委員からも同様のご意見をいただいております。

最後にですが、萱野委員より、今後、マンションが増えていって世帯数が増えていく、人口も増えていく、そういった人口増への対応をしていただきたいとご意見をいただいております。

最後に、中谷委員より、災害にあったお家そのまま放置されていて後片づけが必要になっているという状況のところに対して、地活協の取組の中で、こういったところの対策に予算を使っていけるような仕組みづくりをというふうにご意見をいただいております。

ご意見の報告は、以上になります。

続きまして、地域社会づくり班で担当しております、経営課題につきまして、「天王寺区区政会議委員評価シート」による評価結果をご紹介します。

まず、経営課題4「地域の力を結集した「防災力」向上の取組」としまして、こちらにめざすべき将来像の実現に有効であったかと感じられるとご意見をいただいた方、思うと感じられた方はお1人、やや思うと感じられた方は5名、あまり思わないと感

じられた方は1名でございました。

続きまして、経営課題6「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」につきまして、めざすべき将来像の実現に有効であったと思うと感じられなかった方はいらっしゃらなかったんですけれども、やや思うとおっしゃっていただいた方がお1人、あまり思わないと感じられている方が6名でございました。

報告は、以上でございます。

○一本松副議長

皆様、いろいろありがとうございました。

議題につきましては、以上で終了とさせていただきます。

ここで、区役所に進行をお返しいたします。よろしく申し上げます。

○丸谷事業戦略担当課長

小野議長、一本松副議長、また委員の皆様、多くのご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

ここからは、報告案件といたしまして、昨年度から新たに専門的な審議を行うため設置した、地域福祉ビジョン検討部会の審議結果について報告を行います。

それでは、地域福祉ビジョン検討部会の議長を担っていただいております、松下（尚生）委員からご報告をお願いいたします。

○松下（尚生）委員

地域福祉ビジョン検討委員会の議長をさせていただきました松下と申します。

地域福祉ビジョンに関してなんですけれども、これは、中期的、約5年間この天王寺区の地域の福祉をどのようにするかということを経営的に考えた内容を検討する会議でございます。福祉の部分というのはどうしても短期間に結果が出るものはありません。中期的な見方というのが非常に必要になってきます。また、現在、地域にはさまざまな福祉にかかわるコミュニティ、それから資源というものがたくさんありますけれども、なかなかそれが横断的に活用されるという部分も少なく、いろんな問題が

出てると聞いております。そのようなものも総括してまとめられるような形のものになっております。

また、一応これは地域福祉・健康班で担当させていただいておりますけども、内容としては、介護とかの問題だけではなく、子育ての部分にも内容は及んでおります。

昨年度より2回にわたりまして、内容を地域福祉・健康班でいろいろ意見交換を行い議論を重ねてまいりました。

それでは、詳細に関しましては、事務局の大島課長よりお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○大島保健福祉課長

地域福祉ビジョンの策定を担当しております、保健福祉課長の大島でございます。

それでは、お配りしております資料に沿って地域福祉ビジョン検討部会の議論についてご報告をいたします。ちょっと座らせていただきまして、ご説明のほうさせていただきます。

まず、本日お配りしております、「天王寺区区政会議 天王寺区地域福祉ビジョン検討部会からの報告」という1枚ものの資料をまずご覧ください。

皆さん、資料おわかりでしょうか。大丈夫ですか。最初に机の上に置いておいた資料だと思われるんですけども、大丈夫でしょうか。皆さん、ご覧いただけましたでしょうか。

それでは、「天王寺区区政会議 天王寺区地域福祉ビジョン検討部会からの報告」と記載しております資料をまずご覧ください。

まず、1の「天王寺区地域福祉ビジョン検討部会について」ですが、平成30年10月25日の第1回地域福祉ビジョン検討部会においては、初めに事務局より天王寺区地域福祉ビジョンの素案について、地域福祉ビジョン策定の必要性並びに天王寺区における現状及び課題について説明いたしまして、委員の皆様からご意見をいただきました。

続いて、平成31年3月7日の第2回検討部会におきましては、第1回検討部会でいただいたご意見への回答及び対応状況等につきまして、事務局より説明いたしまして、委員の皆様からご意見をいただき、パブリックコメント実施に向けた最終案のほうをまとめさせていただきました。

ここで、最終案と検討部会でいただいたご意見の回答及び対応状況について、ご説明をいたします。

天王寺区地域福祉ビジョンの最終案ですが、資料1のほうをご覧ください。天王寺区地域福祉ビジョン（案）【概要版】と書かれている資料にあります。資料のほう大丈夫でしょうか。

皆さんご覧いただきましたでしょうか。時間の関係もございますので、この概要版に基づいて説明のほうをいたします。

天王寺区地域福祉ビジョンにつきましては、基本理念としまして、誰もが安心して自分らしく地域で生き生きと暮らせるまちづくりをめざしてまして、基本理念の考え方5つ、住民主体、福祉コミュニティの形成、多様な主体の協働、人権尊重、ソーシャルインクルージョンと呼ばれる社会的援護を要する人々の支援をもとに、以下のような取組の方向性として、8つの項目について取組んでいます。

まず1つ目としまして、見守り活動による地域のつながりづくり、2つ目としまして、多職種のつながりづくり、3つ目としまして、多様な主体のつながりづくり、4つ目としまして、だれもが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり、5つ目としまして、介護予防に取り組むまちづくり、6つ目としまして、地域福祉活動、福祉人材の担い手づくり、7つ目としまして、子育て支援体制の充実、情報発信、そして最後に、総合的な相談支援体制づくりの8項目について取組を進めてまいります。具体的な取組や内容につきましては、本編にございます。また後ほどご覧いただければと思っております。

続きまして、検討部会でいただいたご意見の回答及び対応状況ですが、資料2のほ

うをご覧ください。1枚ものの資料となっております。資料2のほうにつきまして、「平成30年度第1回天王寺区地域福祉ビジョン検討部会」でいただいたご意見等への回答・対応状況についてということですが、この第1回の検討部会におきまして、ご意見を約10項目いただきまして、その回答及び対応状況について記載させていただいております。こちらのほうにつきましても、時間の関係もございまして、詳細については割愛させていただきます。

それでは、先ほど示しました、検討部会からの報告という資料のほうにまた戻っていただけますでしょうか。大丈夫でしょうか。

続きの2番のほう、「天王寺区地域福祉ビジョン（案）のパブリックコメントの実施について」を説明させていただきます。

まず、（1）実施目的としまして、天王寺区において策定する区地域福祉ビジョンについて広く市民からご意見をいただくために実施したところでございます。

（2）意見募集期間としましては、令和元年6月3日から7月2日までの1カ月間実施いたしました。

（3）周知方法としましては、広く周知する必要が、まず区の広報紙6月号に掲載しまして、大阪市のホームページへの掲載、また、あわせて報道系への情報提供も行いました。

（4）資料の閲覧、配架場所につきましては、天王寺区役所の区民情報コーナー、福祉関係の窓口であります区役所2階の保健福祉課の窓口、また、地域福祉活動を担っておられる天王寺区社会福祉協議会ゆうあいの中にも資料のほうを配架させていただいております。また、大阪市のホームページに掲載し資料が閲覧できるようにいたしました。

以上のように行いまして、（5）意見受付結果につきましては、特にご意見等はございませんでした。

続きまして、3の今後のスケジュールについてですが、2回実施しました検討部会

及びパブリックコメントの結果を受けまして、大阪市のホームページ等におきましてパブリックコメントの結果を公表するとともに、所定の手続を行った上、天王寺区地域福祉ビジョンにつきましては、令和元年9月1日付で策定及び施行を行ってまいりたいと思います。

なお、ビジョンの対象期間につきましては、2019年度、令和元年度から2023年度、令和5年度までの5年間というふうにさせていただきます。天王寺区地域福祉の推進に向けて、今後ともご協力のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

これで、ご報告のほうを終了させていただきます。

○松下（尚生）委員

地域福祉ビジョン検討部会に関する報告は、以上となっております。

○丸谷事業戦略担当課長

松下（尚生）委員、ありがとうございました。

次に、昨年度、路上喫煙対策部会においてご議論いただきました、天王寺駅周辺の路上喫煙禁止地区指定に向けた本市の検討状況について、私のほうから簡単にご報告いたします。

来年2月の禁止地区指定に向け、今年の3月に大阪市路上喫煙対策委員会で昨年度の第2回区政会議でご報告いたしました、天王寺区の路上喫煙禁止地区の案が、阿倍野区案とともに諮問されました。この4月には、環境局よりパブリックコメントが実施されました。現在、委員会において、禁止地区の啓発表示物や地区指定に伴い設置を検討していく喫煙所に関しご議論いただいているところです。

今後の予定でございますが、委員会から9月頃に答申を受ける見込みとなっておりますので、次回の区政会議では、答申の内容も含めてご報告したいと考えております。よろしくお願ひいたします。

報告事項は以上でございます。松下（尚生）委員を始め、皆様、区役所の職員含め元の席にお戻りください。

それでは、会議全体をとおしまして、西山区長からコメントをお願いいたします。

○西山区長

皆さん、本日は大変貴重なご意見、ご提案をいただきまして、本当にありがとうございます。中でもちょっと気になりましたのは、広報紙をもっと見てもらえるようにということで、はっと気がつきましたのは、天王寺区の広報紙一面が全面写真になっています。こういう広報紙は24区中、天王寺区だけです。ところが、私だけじゃなく前任の水谷区長の時から続いているもので、目的としましては、気がついていただいて手に取って見ていただける広報紙、これが基本になっております。僕たちその基本に立ち戻って、やっぱり見てもらえる、手に取って見てもらえるような広報紙にしていかなきゃいけないのかなということを含めまして、区民の方々に、区役所はどんなことをやってるか、地域がどんなことやってるかというのをもっとよく知ってもらえるような工夫を取組んでいきたいなと思ってます。

あとは、もう一つ、子育ての関係でいいますと、スタート応援券の期間延長ですか、保育所の保育園の施設は充実してきているけども、もっと質への転換というような、量だけじゃなくよりきめ細やかな対応という工夫というのもしていかなければいけないのかなというのを改めて感じました。

あともう一点、中学校の体育館のエアコンなんですけど、初年度は最終避難場所ということで各区に中学校1個となっておりますけども、次年度以降、来年、再来年3カ年で、全中学校の体育館、エアコンを設置することになってますんで、どうぞよろしくをお願いいたします。

本日の議論を踏まえまして、引き続き、よりよい区政に向けて励んでまいりたいと思っております。

また、冒頭に小野議長のご挨拶にもございましたけども、本日の会議で今期の委員の委員の皆様方、2年間の任期が最後になります。この2年間いただきました貴重なご意見、また、ご理解、ご協力、改めてお礼を申し上げます。区政会議委員の立場を

離れられましても、引き続き、区政に対するご支援、ご協力、ご意見、積極的にいただきますようよろしくお願いいたします。

それから、前回の区政会議でもお伝えいたしましたけども、区政会議の子育て・教育班の委員の皆様方に、天王寺区教育会議委員にもご就任いただきたいということにさせていただいております。委員の皆様方におかれましては、9月26日開催予定の令和元年度第1回天王寺区教育会議にご参画いただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、次期の委員改選に伴いまして、新たな公募委員の方も募集しております。この8月1日から1カ月間募集期間を設けております。再度という方も含めまして、広く参加いただけたらなと思っております。

本日は、本当に貴重なご意見、ご議論いただきまして、ありがとうございます。

この辺で私の講評を終わらせてもらいます。

○丸谷事業戦略担当課長

最後になりますが、本日ご出席の足高議員、金子議員から一言ずついただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○足高議員

皆さん、こんばんは。今日は本当に素晴らしい皆様のご議論を聞かせていただいて、本当に恐縮をいたしております。ただ、ちょっと思ってるのは、行政の皆さん方の説明のほうの方が長くて、ちょっと中身が十二分に皆様のご理解できないようなイメージが、ちょっとこの4カ所でテーマにありました。それ非常に大事なことでしょうけども、先ほど区長さんからお話あったように、ご承知のように中学校でも今度一番最初に夕陽丘中学校に冷房、暖房を入れます。ただこれも、本当はもう区長らが用意してはるから、ちゃんと言うてくれはるかなと思ってたんですけども、残りの2つはもちろん後でやるんですけどね。そういうことで、十二分に行政のほうから先にいっぱいしゃべってもらおうほうが、あと皆さんもいろんな意見を言いやすいかなと

も思ってたんですけども、実は、今日は大阪メトロの市バスというのがだんだんとオンデマンドバスといって、皆さんが電話をかけたらバス停に来てくれるとかそういう制度をこれからやっていくというお話もあるんです。今まで、皆さん、平嶋さんらが赤バスが全然とまらへんやないか、1時間1本しかないという怒ってはったでしょ。そんなことをもっと今日は言うてくれはんのかなと思ってたんです。ところが、それをやると確かに今まで以上に、みんなどこに行ったらバスが来るかがわかる。ところが、お年寄り、携帯上手に使えますか。できないと思う。せやけども、昔の大阪市バスですけど、今はええ名前だけつけてはりますけども、そんなこと全然考えない。みんなが電話してくれはったらそこに集中したらその路線もできていく、いろんなことができるというお話を一度この間我々はメトロのバス会社と議論したんですけど、そういうことを当然のことにもものすごいですばらしいことや思ってやってはるんですけど、区長さんのところまでそんな話はおいてないと思いますけど、いろんなことで皆さんのところへ届かないということもあるんですけども、そういうこと以外に、今回もうちょっと詰めたお話があったらええかなという思いがあったんです。先ほど、防犯の話とかいろんなありますけども、本当に、こんな話でももうちょっと、ここに警察の人がよう天王寺の中でも、警察とか消防とかいろんな関係の人全部入ってもうていろんな議論するところもあるんですけども、あえてこの大きなすばらしい場所ですから、警察とか消防とかおってもいいなと思いますけども、皆さんが本当に今一番困ってることを一緒に行政の皆さんとお出しただいたら、もうちょっと詰まったようなお話ができたんじゃないかと思います。

先ほど、私の地元で真田山の祭りがまた今度あるんですけども、ここでちょっとさつきお話聞いたときに、お父さん方、お母さん方がようさん来てくれはるんです。子どもはそれに合わせて来はるんですけども、どうしても子どもの数が逆に少ない。お父さん、お母さん方は、いろんなグループ持ってはりますから、その関係で皆さんが来はって、実は私も時々パン売り場へうちの事務所から雨の時でもぬれながら運んで、

また売って持って帰らなあかんいうたら雨の中帰ってることもたまにあるんです。あまり言いたくないんです。それでも、そういう形で皆さん協力できるとこ何ぼでもあると思いますので、それはやっぱり皆さん行政の力だけ借りるんでなしに、皆さん方は皆さん方でそういう大きな枠組をつくっていただきたいと思います。

もう一つちょっと気になったんは、子どもたちがいろんなことをするのはいいんですけれども、もう一つ、子どもの、天王寺区いうたら市子連というのがありますね。今、隊長さんかわりましたけど、子どもたちが同じようなことをするんです。例えば、先ほどちょっとお話あったかもわかりませんが、天王寺区のいろんな寺院回りとかいろんなところを見て回るというのも現実に同じことをやっておられる。それを何か両方で一緒にできないのかな。区役所の行事とそういうものを一緒にやったら、もうちょっと楽しいもんもできるんじゃないかと思いますので、その辺もいろんな知恵を絞っていただいて、絶対そうしてほしいと言うわけではないですよ。そういうこともあるんじゃないかなということだけちょっとお話しさせていただいて、ちょっと長々しゃべりましたけども、今日は本当にご苦労さんでございました。ありがとうございました。

○金子議員

改めまして、皆さん、長時間本当にお疲れさまです。

いつもこの区政会議に参加させていただいて、少しずつですけども回らせていただいて、皆さんの闊達なご意見のやりとりを聞かせていただいていつも感心するんですけども、本当にこの区政会議、現場でご活躍の皆さんが集まっていただいて、当事者目線での課題というのが浮き彫りになって、非常に有意義な会議になってるのではないかなと思っております。細かいところでいきますと、今日聞いた中では、65歳以上の同居の方々について、見守り相談室っていう方向で支援を促しているとかっていうお声なんですけども、これも65歳以上の方の4割が同居だということで、さらに25%がお二人で、ご夫婦だけで住まれているということで、もうほとんどの人

が、65歳以上の方々、お子さんたちと二世帯、三世帯で住んでる方がこの天王寺区でもいらっしゃるんだなということをお伺いするに当たって、やはり、すごくこの見守り相談というのが重要になってくる事業なのかなというふうに聞いておりました。一生懸命、区役所もそれに対して支援をしていこうという努力はしてるんですけども、なかなか浸透されていかないというところで、じくじたる思いもあると思います。なので、ここでやはり皆さんの当事者としての目線での課題を出していただくことによって、区役所側もそれに対応することができるということで、非常にいい傾向にあるのではないかと思います。

最後に、ここの区民の声が区政へ反映していると思われるという、区民へのアンケートで、何と天王寺区は48%を超えておりまして、24区内で1位だったということなんです。これは、やはり区役所の職員の皆さんの努力はもちろんですけれども、この区政会議で皆さんが当事者の声をしっかりと届けてくださってるということが、本当に大きな成果になっているのではないかと思います。これからも、本日で皆様の任期終わるということなんですけれども、これからもぜひ区政会議委員としての立場ではございませんけれども、どんどんと区役所のほうにご意見を出していただいて、区政へと参加していただければと思います。

本日は、長時間お疲れさまでした。

○丸谷事業戦略担当課長

ありがとうございました。

また、小野議長、一本松副議長、また委員の皆様、本日多くの貴重なご意見いただき、改めまして、本当にありがとうございました。

また、先ほどからお示しもございましたが、本日の会議をもって、本日お集まりの区政会議委員の皆様のご任期がいったん終了となります。これまで2年間、天王寺区政に並々ならぬご高配とご指導をいただきましたこと、改めて深くお礼申し上げます。今後も引き続きのご指導、ご協力をお願い申し上げます。

それでは以上をもちまして、令和元年度第1回天王寺区区政会議を終了させていただきます。

お帰りの際、「区政会議委員評価シート」「区政会議に関するアンケート」をご完成されておりましたら受付担当者にお渡し下さい。後日いただけます場合は、返信封筒をお使いいただきまして、8月21日までにご返送いただきますようお願いいたします。

本日は、本当にありがとうございました。